

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 108-0073  
 住 所 東京都港区三田3-13-16 三田43MTビル14F  
 氏 名 株式会社ティップネス  
 代表取締役社長 武信 幸次 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ティップネス		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市宮前区宮崎2-10-10		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	N	生活関連サービス業、娯楽業
	中分類	80	娯楽業
主たる事業 の内容	フィットネスクラブを運営している。		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,757	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	開発部
		所在地	東京都港区三田3-13-16 三田43MTビル14F
		電話番号	03-3769-8711
		FAX番号	03-3769-9335
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度 (報告年度 平成28年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,371 t-CO <sub>2</sub> (調) 3,329	(実) 3,461 t-CO <sub>2</sub> (調) 3,420	(実) t-CO <sub>2</sub> (調)	(実) t-CO <sub>2</sub> (調)	(実) 3,270 t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) -2.7 % (調) -2.7	(実) % (調)	(実) % (調)	(実) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積		単位		t-CO2/m2
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	0.2063	0.2101			0.2001
削減率		-1.8 %	%	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	中野島店が2015年度は0.5か月の稼働であったが、2016年度は1年間フルで稼働したため排出量が増加した。電力使用量はアリーナ・ラケットコート照明をLED化したことにより使用量が減ったものの、ガス使用量は利用人数が38,994人（3.2%増）増えたため、排出量も増加した。
第2年度	
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

<p>全社的にFIRSTGYM24（既存店と異なる形態のフィットネスクラブ）を展開したが、これまでどおり温室効果ガスの原単位について対前年比で年1%の削減目標を掲げ、全社的に温室効果ガス削減の為にエネルギー削減計画を推進してきた。</p> <p>特殊事情により設置できない店舗を除き、全店に展開しているエネルギーの見える化システムを活用して営業時間外の無駄なエネルギーの発見に努め、使用量の削減に本社・店舗が一体となって引き続き取り組んでいく。</p>
--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	<p>○推進体制の整備： 全部署が関わる「エネルギー管理委員会」を発足し、会議を毎月実施する。</p> <p>○エネルギー使用量の管理： 電力の使用実態の把握のため、デマンド監視装置を設置する。</p> <p>○空調設備対策： 更新時期にある空調機（EHP、GHP）の高効率化を推進する。</p> <p>○照明設備対策： 本部における昼休みの消灯を実施する。店舗の休館日における館内消灯を徹底する。店舗における高効率照明器具の導入を推進する。</p> <p>○事務用機器対策： コピー、プリンターの使用を抑制する。</p>
	第1年度	<p>○推進体制の整備： 全部署が関わる「エネルギー管理委員会」を発足し、会議を毎月実施した。</p> <p>○エネルギー使用量の管理： 電力の使用実態の把握のため、デマンド監視装置を設置し、時間外エネルギー使用量を徹底管理した。</p> <p>○空調設備対策： 第3年度に更新検討中</p> <p>○照明設備対策： アリーナ・ラケットコート照明をLED化した。第2年度に宮前平の全館照明LED化を検討中</p> <p>○事務用機器対策： コピー、プリンターの使用を抑制した。</p>
	第2年度	
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する処置の実施状況

計 画	
第1年度	
第2年度	
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,230	t-CO <sub>2</sub>
(調)	3,270	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
ティップネス川崎	川崎市川崎区砂子2-11-17 日土地ビル4F			977 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	2
300～400k1 未満	1
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	2

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--